

A Numerical Evaluation on Sustainable Size of Primary Deficit in Japan

Real Arai*

Graduate School of Social Sciences,
Hiroshima University

Junji Ueda[†]

Policy Research Institute,
Ministry of Finance Japan

平成 24 年 4 月 23 日

概要

本研究では、日本における維持可能な基礎的財政赤字対 GDP 比率の水準を明らかにする。この分析の為に、多世代の家計からなる世代重複モデルを構築した。このモデルにおいて、政府は GDP に対する基礎的財政赤字の水準を一定に保つように財政運営を行うと仮定する。定量的な分析を通じて、長期的な経済成長率が 5% 以上という非現実的と考えられる水準にならない限り、基礎的財政赤字を維持することはできないことを示した。得られた結果は、日本において公債残高対 GDP 比率の発散を防ぐためには、基礎的財政収支を黒字化する必要があることを示唆している。

*Graduate School of Social Sciences, Hiroshima University, 1-2-1 Kagamiyama, Higashi-hiroshima, Hiroshima, 739-8525, JAPAN, E-mail: real@hiroshima-u.ac.jp, TEL: +81-82-424-7297.

[†]Policy Research Institute, Ministry of Finance Japan, 3-1-1 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo, 100-8940, JAPAN, E-mail: junji.ueda@mof.go.jp